



道 程

令和8年1月29日
第83号

激闘！燃えろ余市紅志体育文化交流大会

12月12日に余市紅志高校体育文化交流大会が開催されました。

体育文化交流大会というのは体育部門と文化部門に分かれ、学年対抗で点数を競い合うというものです。

今回行われた競技は、体育部門からはバレーボール、バドミントン、New スポーツ(モルック、ポッチャ、ディスコン)文化部門からは、UNO、大富豪、絵しりとり、ナンジャモンジャです。今回は、毎年PR局が制作している恒例の映えスポットは貝殻とかわいいフォトスポットにし、去年の反省を生かし出入り口にLEDの装飾を施すことで注目が集まりようにしました。体育部門では、学年全体がお互いを応援し合い、優勝を目指して一致団結していました。文化部門では、今年から新しく入ったナンジャモンジャで学年問わず楽しんでいる様子が感じられます。これをきっかけに学校全体の雰囲気がいよいよ元気になったと思います。

▼体育部門



▼文化部門



▼映えスポット



3年間の集大成！未来に向けた総合学科研究発表会

本校で12月2日火曜日に総合学科研究発表会が実施されました。生徒がグループごとに分かれ、3年間の総合的な探究を通して取り組んできたテーマについて、自分の言葉でまとめ、発表をしていました。

発表内容は、地域の課題を調べたもの、進路や職業について深く掘り下げたもの、調査を重ねて導き出した考察など、どれも生徒自身の問題意識から生まれたものでした。身近な疑問を出発点に、資料を集め、考え、試行錯誤を重ねてきた過程が、発表の随所から伝わってきました。

また、他者の発表を聞くことも、貴重な学びの機会です。自分とは異なる視点や考え方に触れることで、新たな気づきを得たり、興味の幅が広がったりします。

今回の総合学科研究発表会を通して得た経験は、これからの学校生活はもちろん、進路選択や将来の社会生活にも生かすことができます。自分で考え、行動し、相手に伝える力は、どのような場面でも求められます。この発表会を1つの節目として、これからも主体的に学び続ける姿勢を大切にしていきたいと思います。



いよいよスタート！気持ち切り替え頑張ろう。

約3週間の長いようで短かった冬休みも終わり、15日から後期の学校生活がスタートしました。生徒の様子を見ていると思い出話に花を咲かせ笑いが絶えずとても充実した休みだったことが分かります。授業が始まると集中し意欲的に取り組む姿が多く見られました。冬休み気分から学校生活へ気持ちもしっかり切り替え良いスタートが切れたのではないのでしょうか。始業式では校長先生より仲間を大切に過ごしてほしい。というお話をしていただきました。ありがとうございますの気持ちを忘れずに言葉にして伝えることを心がけていきたいと思います。後期は登校日数が前期よりも少ないためあっという間だと思えます。一日一日を大切に充実した日々にしていきましょう。

▼校長先生の話



▼校歌斉唱



歴史と現代文化を学んだ修学旅行

私達は修学旅行として奈良・京都・大阪を訪問しました。奈良では大仏や鹿を通して、古都が持つ文化的価値に触れることができました。京都では全員で金閣寺および清水寺を見学し、日本の伝統や歴史の重みを改めて認識しました。大阪ではユニバーサル・スタジオ・ジャパンを訪れ、集団行動を通じて協調性や責任感の重要性を学びました。今回の修学旅行で得た経験を、今後の学校生活に生かしていきたいと考えています。とても楽しい修学旅行でした！！

▼奈良公園の鹿



▼奈良の大仏



▼大阪城



仲間と挑んだパン甲子園

10月4日(土)から5日(日)に食品製造を選択している2年次の3人が代表して、岩見沢で行われたパン甲子園に出場してきました。今年のお題は「食パン」で、余市紅志からは余市ならではの食材を使いたいという案が出たので白身魚を使いたいという案が出たので白身魚を使った食パンのレシピを開発しました。大会前日はパン職人の方に生地の手捏ね方やきれいな形を作るコツを教えていただきとても貴重な体験でした。そして、当日は慣れない場所で緊張し、ミスしてしまった場面もありましたが、自分達ができることをすべて出し切ることが出来ました。結果は優秀賞で審査員の方々からいい評価やアドバイスなどをたくさんいただきました。この経験をこれからのパン作りに活かしていきたいと思いました。

▼パンを作っている様子



▼表彰されている様子

